

ガバナー就任の

ご挨拶

ガバナー **菅生 浩三**



1991～'92年度国際ロータリー第2660地区のガバナーのご指名を受け、責任の重大さを痛感致しております。微力ではございますが、皆様のお役に立ちますよう、全力を尽して参りたいと存じますので、よろしくご支援とご協力を賜りますようお願い致します。

本年度のRIのテーマは、「自分を越えた眼を」でございます。英文では、「Look Beyond Yourself」であります。このテーマは、真の意味での「他者への奉仕」に到達するため前提として、ラジェンドラ・K・サブールRI会長によって私どもに要請されました。同会長は、私どもすべてが自らの心の底を見つめるとき、自我を超えた内なる力、自分を越えた眼を持つ大いなる力を持つことに気付くものであり、この自分を越えた眼こそ、社会への夢と使命感への自覚を通じて、真の奉仕の理想の実現へと私どもを導くものであると述べておられます。

私は、このRIのテーマを踏まえ、当地区におけるロータリー活動の一層の活性化をはかるため、本年度運営の要点を次の諸点において参りたいと存じます。

1. ロータリーへの理解をさらに深めて頂くこと。

まず、ロータリーの一層の活性化は、私どもがロータリーの存在意義自体にかかる根本的な認識をさらに深めることから始まるものと考えます。

2. 奉仕活動の現状について十分な認識を共有して頂くこと。

次に、ロータリーの一層の活性化は、私どもが、地区内外及びより広域的規模で行われている各種の奉仕活動の現状と実態について、具体的でかつ正確な認識を共有することによってのみ、裏付けられるものと考えます。

3. 奉仕活動の現在及び将来のあり方について、検討と準備に着手して頂くこと。

さらに、ロータリーの一層の活性化は、私どもを取巻く社会的諸環境が地球的規模で急激に激変しつつある今日の実態に則し、私どもの奉仕活動がこれを充足しこれに即応できるように、必要な検討と準備を怠らないことによってのみ、その存在意義と将来が約束されるものと考えます。

申すまでもなく、ロータリーの原点と尊厳は各クラブ自体に存在します。各クラブの皆様が互いに知り合いと親睦を深められ、今日の多難な世界の現状を踏まえてロータリーの理想を実現するため、手を携えてロータリーの一層の活性化にご尽力賜りますよう、お願い致します。

最後に、この一年が稔り豊かな年でありますよう、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り致します。

(イラストは、大阪中央R.C.松本一夫会員のご協力を頂きました。)